

# 平成 24 年度事業報告書

(平成 24 年 4 月 1 日～25 年 3 月 31 日)



公益財団法人

**日本ユースリーダー協会**

DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLIERS

(参考) **平成24年度事業計画**

---

---

## I. ユースリーダー育成事業

### 【1】アジア研修プログラム

- ① 中国植林プロジェクト
- ② 「飛び出せ若者プロジェクト」プログラム開発

### 【2】来日研修の受入れ

- ① JICA 青年研修事業の受託
- ② アジア地域からの来日研修受入

### 【3】ユースリーダー研修

- ① 「異業種交流研修会」
- ② 「アジアの会」(大阪支部)
- ③ 「親子体験学習プログラム」

## II. ユースリーダー支援事業

### 【1】アジアチャレンジ相談

### 【2】アジアチャレンジ助成制度創設準備委員会

### 【3】若者応援サポーター・トレーニングプログラムの開発

## III. ネットワーク・社会啓発事業

### 【1】「第4回若者力大賞」

### 【2】ASEAN-JAPAN 30周年フォーラム実行委員会

### 【3】社会啓発のための広報活動

## IV. 協会運営活動

### 【1】会議運営(理事会・評議員会・運営幹事会の開催)

### 【2】会員相互交流・会員募集

## 平成24年度事業結果報告

### I. ユースリーダー育成事業

#### 【1】アジア研修プログラム

##### ①中国植林プロジェクト（H23～24 年通年実施）

- ◆2006年から参加している中国での植林活動。（日中緑化交流基金の助成）  
今年度も3か所で植林を行いました。

- ①「内モンゴル砂漠化防止モデル林プロジェクト」  
（内モンゴル・ダラト旗）
  - 苗木・補植・・・360千本（75ha）
- ②「内モンゴルバヤンノール市生態防護林」  
（内モンゴル・バヤンノール市）
  - 苗木・補植・・・275千本（53ha）
- ③「安徽省懐寧造林プロジェクト」  
（安徽省懐寧県）
  - 苗木・補植・・・176千本（120ha）



- ☆今年度は、「飛び出せ若者プロジェクト」のプログラムのひとつとして、植林地区（内モンゴル・ダラト旗）に学生を派遣。植林体験や、地元の大学生との交流を実施。  
（→詳しくは、②「飛び出せ若者プロジェクト」参照）

##### ②「飛び出せ若者プロジェクト」（新規プログラム）

#### GET (GLOBAL EDUCATION TOUR) スタート！

- ◆日本の若者の内向き志向が心配されています。そこで今年度から、日本の若者を外へ飛び出させようとGET (Global Education Tour) プログラムを企画しました。

##### (1)「GET(中国研修ツアー)」実施（H24.8.26-9.1）

研修先はアジアに絞り、そのテストの第1弾として中国への研修ツアーを、8/26～9/1の1週間実施しました。上述の植林活動の友好関係をもとに中国で研修生を受け入れていただきました。

対象は大学生8名。内モンゴルの砂漠で植林を体験し、地元の大学生との交流や、さらには小学生を相手に日本を伝える授業に挑戦。今回の参加者の半数がパスポートなし、つまり海外が初めてというツアー。まずは外に出るきっかけを与えたいという私たちのコンセプトが理解されて、大きな成果を収めることができました。



## (2)「GET(ベトナム研修ツアー)」実施 (H25.3.23-3.29)

さらに今年度第2回目となるアジア研修ツアー(GET)をベトナム・ダナンで3/23～29の1週間実施しました。大学生15名、高校生8名(内訳:男性16名・女性7名)が参加。プログラムは同世代交流やホームビジット体験。また地元の小学生に日本を伝える授業の体験や工場見学、世界遺産のホイアン見学など。研修前に3つのミッションを与え、帰国後の4/13、報告会を開催して成果を発表。皆な一回り大きくなって帰ってきました。

☆今回のGETは、中国研修は「日中国民交流友好年行事」として、ベトナム研修は「日・ASEAN 友好協力40周年行事」として認められました。



(右上:ホイアン日本橋前で集合/左下:小学校での授業風景/  
下中:日・ASEAN 友好協力40周年・日中国民交流友好年ロゴマーク/右中:初めてのホームビジット/  
右下:GET ロゴマーク)

## 【2】来日研修の受入れ

### ①JICA 青年研修事業の受託

- ◆1984年にスタートして間もなく30年の歴史を迎えようとしている JICA 青年研修事業。今年も数多くの国々から研修員(ほとんどが若手公務員)が日本にやってきました。その中で当協会では、「スリランカ(行政管理コース)」・「アフリカ(職業訓練教育コース)」・「アフリカ(行政管理コース)」の3つの研修を受託し、実施しました。

### (1)スリランカ(行政管理コース)研修実施 (H24.8.30-9.13)

その最初の研修を、8/30～9/13 までの2週間、スリランカから20名の研修員を迎えて、日本の統治機構や内閣府の役割、地方自治、都市開発の事例視察など、行政全般にかかわる研修プログラムを実施しました。



**(2) アフリカ(職業訓練教育コース)研修実施 (H24.10.9-10.23)**

**(3) アフリカ(行政管理コース)研修実施 (H24.12.4-12.18)**

2つ目の研修「アフリカ職業訓練教育コース」は、10/9～23までの2週間、アフリカから17名(仏語圏9か国混成)の研修員を迎えて実施しました。ほとんどが自国で教員をされている方々で、大学や職業訓練校、さらには小学授業を見学。また、大田区の製造工場での実習体験などが盛り込まれました。

そして3つ目の「アフリカ行政管理コース」は、12/4～18までの2週間、同じくアフリカから12名(仏語圏10か国)が参加。この研修では、名古屋まで足を延ばし、地方自治行政の視察研修も行いました。



(右上:西村製作所見学/左下:増林小で歓迎を受ける/右下:埼玉県立中央高等技術専門学校で実習見学・・・いずれもアフリカ職業訓練教育コース)

**【3】ユースリーダー研修**

**①「異業種交流研修会」定例開催**

◆ 法人会員の中堅幹部クラスを対象として年3回のペースで開催している「異業種交流研修会」。今年度も6月・11月・2月の3回にわたり、斯界を代表するゲストを迎えて開催。毎回30～40名の参加を得て、講演の後は、講師を囲んでの懇親が恒例となりました。(会場:大手町パソナグループ本部)

(1) 第13回目となる例会は**6月11日**に開催され、元大蔵事務次官の田波耕治氏を講師にお迎えして、「日本の財政とこれからの日本経済」と題してご講演をいただきました。



(2) つづく第 14 回目は **11 月 12 日**に、富士通顧問の  
広西光一氏を講師にお迎えして、「夢をかたち  
に -ICTの活用で未来を拓く- 」と題してご講  
演をいただきました。

(3) そして今年度第 3 回目、通算第 15 回目の例会は、  
**2 月 25 日**に、三井物産の榎田松瑩会長を講師に  
お迎えして、「グローバ  
ル人材とは ~グローバル  
社会で活躍する為に~」と  
題してご講演をいただきま  
した。



## ②「アジアの会」(大阪支部)定例開催

◆大阪支部が 2004 年から続けているアジアをテーマにした異業種交流会「アジアの会」。  
今年度も下記のとおり4回開催。

(1) 第 36 回「アジアの会」(H24.4.19 ガーデンシティクラブ大阪)

- ☛ 講師:細田雅人氏(インタープロテイン(株) 社長)  
「ジェネリックから創薬へーアジアの製薬企業とバイオベンチャー」

(2) 第 37 回「アジアの会」(H24.7.19 同上)

- ☛ 講師:高見邦雄氏(認定 NPO 法人緑の地球ネットワーク 事務局長)  
「砂漠化防止とはどういうことか? 中国で木を植えつつけて 20 年」

(3) 第 38 回「アジアの会」(H24.10.25 同上)

- ☛ 講師:磯田郁子氏((独法)日本学生支援機構 大阪日本語教育センター教師)  
「私の出会った留学生たち」

(4) 第 39 回「アジアの会」(H25.2.20 同上)

- ☛ 講師:河合 武氏(西安交通大学 教授)  
「中国の庶民生活・学生気質とその裏話」



### ③「親子体験学習プログラム」実施

- ◆ 将来のユースリーダーの育成の一環として、親子で学ぶ体験学習「自然とのふれあい」を毎年実施しています。  
新しい体験で目覚める子供たちも、そこで子供たちを指導する若者も、間違いなく明日のユースリーダー候補生。  
今年度は夏休みと春休みに2回体験イベントを実施しました。

#### (1)「土とのふれあい・Happy Gardening」(H24.7.28)

7月28日、都心の植物で囲まれたオフィスビルとして知られる「パソナグループ本部」を会場にお借りして、土や草花とのふれあいイベントを実施。家族そろって自然学習を楽しみました。



#### (2)「海の生き物とのふれあい・新江ノ島水族館見学」(H25.3.24)

海の生き物とのふれあいをテーマに毎年「新江ノ島水族館」において、体験学習を実施しています。今年も3月24日に37名(9家族)の参加を得て実施。日本初の有人潜水調査船「しんかい2000」で深海の世界に驚き、ヒトデやクラゲに直接触れるなど、初めての体験を楽しみました。

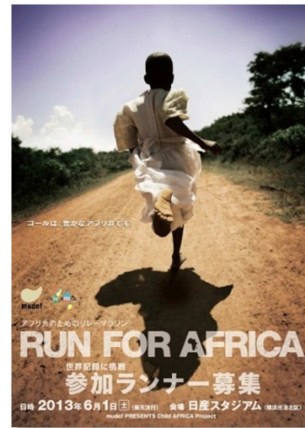


## Ⅱ. ユースリーダー支援事業

- ◆明日の社会のために挑戦する若者や、海外に飛び出して活躍する若者たち…。そうしたユースリーダーを目指す若者たちへの支援活動を今年度の計画におき、下記の支援活動を行いました。

### (1)「一般財団法人mufef」への活動支援

音楽とアートを通じて地球規模の課題（国連採択による「ミレニアム開発目標」）に取り組んでいる一般財団法人mufef。若者力大賞の第1回受賞者MISIAさんも参画しているご縁から毎年、彼らの活動に協賛をしています。



### (2)南三陸町復興ボランティア支援

東日本大震災の直後に、南三陸町災害ボランティアセンター（社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会）への支援を行い、以来、復興活動にボランティアで取り組んでいる若者たち（一般社団法人 RSA JAPAN）への応援を続けています。

- ☆第58回宮城県社会福祉大会（H24.11.7）におきまして、南三陸町への支援活動に対して当協会は「宮城県社会福祉協議会会長表彰」をいただきました。

### (3)「忘れない3.11」イベントを後援

東北の被災地はまだ復興半ば。周りで支え合う気持ちを風化させないために、ボランティア有志が昨年から取り組んでいる支援活動：「忘れない3.11」（H25.3.12 パソナグループ本部）に、今年も後援させていただきました。



### (4)「ヒマラヤの自然と環境と夢を語る」イベントを後援

社団法人日本ネパール協会主催イベント。（H24.11.30 六本木ハリウッドプラザ）世界最高峰のエベレストを抱えるヒマラヤ山脈は、多くの人々に夢と希望を与えている反面、人間が生み出す環境問題にも直面。世界的に有名な3名のアルピニストを迎えてのトークイベントが開催され、当協会も後援させていただきました。



### Ⅲ. ネットワーク・社会啓発事業

- ◆ASEAN を中心としたアジア圏との交流ネットワークづくりと、当協会が事業目的に掲げる「若者が挑戦できる社会づくり」に向けて、今年も様々な活動に取り組みました。

#### ①「第4回若者力大賞」表彰実施 (H25.1.24)

今年度で第4回目を数える「若者力大賞」。今回は40名を越す多くの受賞候補者の推薦が寄せられ、その中から、7名(組)の受賞者を決定しました。

その栄えある表彰式が新年1月24日、パソナグループ本部で行われ、今回は、会員のみならず多くの学生にも参加を呼びかけ、約200名におよぶ出席者でした。

<若者力大賞> 平原 綾香 (歌手)

<ユースリーダー賞> 福島 千里 (陸上競技選手)  
 蛭間 芳樹 (日本政策投資銀行 行員)  
 向田 麻衣 (一般社団法人 Coffret Project 代表)

<ユースリーダー支援賞(個人)>  
 安岡 定子 (安岡活学塾 講師)

<ユースリーダー支援賞(団体)>  
 NPO 法人ブリッジフォースマイル (代表 林 恵子)  
 NPO 法人スターパワー (代表 伊東 伸晃)



(上左:三村会長と平原綾香さん 下左:福島さん・蛭間さん・向田さんと審査委員の三村会長・西尾副会長・山中メイウシヤマ学園理事長  
 下中:安岡さん・林さん・伊東さんと審査委員の橋本夫人・蛭田旭化成最高顧問および井上理事長  
 下右:表彰式で熱唱する平原綾香さん。会場を感動で包みました)

## ②「AJAFA-21」との交流活動（＝ASEANとのネットワーク）

### ◆JICAによる青年招へい事業:

ASEAN諸国の青年層を日本に招へいし、研修視察や同世代交流をとおして、友好・信頼関係を築くことを目的に、1984年、当時の中曽根首相が提唱してスタート。いまは世界の途上国から研修生を迎えて、これまでに約4万名が日本で学び、そのうちASEANが半数以上を占めています。2014年にちょうど30周年を迎えます。

### ◆AJAFA-21:

日本で研修を受けたASEANの卒業生たちは、帰国後それぞれの国で同窓会を組織し、お互いの交流と次に続く若者たちの育成に取り組んでいます。

そして、その横断的な連携組織「AJAFA-21」(ASEAN-Japan Friendship Association for the 21st Century)が1988年に発足。以来、当協会は毎年AJAFA-21との交流を続け、ASEAN諸国とのネットワークづくりに取り組んでいます。

※「AJAFA-21」:カンボジア・インドネシア・ラオス・マレーシア・ミャンマー・フィリピン・タイ・ベトナムの8ヶ国で構成。(シンガポール・ブルネイは途中でODA対象外となって現在未加入)

### ◆AJAFA-21と今年行なった主な活動は下記のとおりです。

#### (1)「RLF(Regional Leaders Forum)」(ラオス)への参加 (H24.11.21-25)

AJAFA-21が発足して2年後の1990年、ASEAN各国の若者たちが集いあうユース・フォーラム(現在:RLF)が初めてシンガポールで開催されました。毎年、各国持ち回りで開催され、今年も11/21-25の5日間、ラオスで行われました。日本を含め各国から約80名の若者たちが集い、テーマは、「Sustainable Eco-tourism Through Culture」で、各国からの発表や意見交換が活発に行われ、お互いの交流を深めあいました。



#### (2)「ECM(Executive Council Meeting)」(カンボジア)への参加 (H25.1.25-28)

AJAFA-21の各国代表者会議(ECM)が、1988年に第1回目を開催して以来、今年が通算25回目として1/25-28の4日間、カンボジア・シェムリアップで行われました。

会議は各国のOB会(Alumni)から活動報告が発表され、共同テーマについての意見交換が交わされるなど、終日熱のこもった討議が繰り広げられました。

日本(DAY)からは、青年招へい事業が始まって30周年を迎える2015年2月に、第27回目のECMを初めて日本で開催することを提案し、決定されました。



### (3)「テレビ会議(TV Conference)」の実施

2009年から、各国のJICA施設を利用し、テレビ中継を通してお互いの活動報告や情報交換を行っています。今年度は4回行われました。

- 1) 第12回「テレビ会議」(H24.4.4 日本:JICA本部+各国JICA現地事務所)
- 2) 第13回「テレビ会議」(H24.7.6 同上)
- 3) 第14回「テレビ会議」(H24.9.14 同上)
- 4) 第15回「テレビ会議」(H24.12.7 同上)



### (4)「青年招へい事業30周年記念大会(仮)」の企画提案

1984年にスタートした青年招へい事業は、間もなく30年を迎えます。ASEAN諸国との協力関係が、我が国における平和外交そして成長戦略上の最重要課題の一つとなつたいま、これを単なる通過点としてやり過ごすのではなく、30年に亘る技術研修や交流活動の実績は、日本が誇るべきASEANとの友好の歴史であることをアピールする絶好の機会です。ASEAN地域に対する関心が、日本のみならず各国とも急速に高まっている時だけに、対ASEANへの日本のプレゼンスを高めることが不可欠であることから、関係機関に対し「青年招へい事業30周年記念大会(仮)」の実施提案を進めています。



(ASEAN青年と歓談する中曽根総理/1984)

### ③広報活動

- ◆ 対外的な協会活動PRは、主に「若者力大賞」の広報で推進しています。  
若者を育てるのは社会の役割という当協会の活動理念から、若い人たちのお手本になるような若者およびその指導者たちを顕彰し、周りの大人も一緒になって明日のリーダーを育てていくことの大切さを呼びかけました。  
会員向けの活動報告としては会報誌を年に2回発行しています。上半期・下半期の活動報告と、主要なトピックスを特集してお届けしています。  
H24年4月から公益財団法人への移行を受けて、ホームページも一新いたしました。

#### <若者力大賞・広報>



← 毎日新聞 H25.1.25

表彰の意図や、今回の受賞者の活動などが紹介されました。

朝日新聞 H25.5.4 →

受賞者のおひとり、蛭間芳樹さんの活動が詳しく紹介された記事の中で、大賞受賞が紹介されています。



#### <会報誌の発行>

- 発行: (No.132) H24年4月
- 発行: (No.133) H24年11月

#### <案内リーフレットの制作>

- 発行: H24年4月
- 改訂: H25年1月

#### <PRビデオの制作>

- 制作: H24年12月



## IV. 協会運営

### 【1】理事会・評議員会・運営幹事会の開催

#### <平成24年度 役員会開催記録>

(1) 臨時理事会

日時:平成24年 4月19日(木)

場所:協会事務局

(2) 第1回評議員会

日時:平成24年 5月29日(火)

場所:芝パークホテル(以下同じ)

(3) 第1回理事会

日時:平成24年 5月29日(火)

(4) 第2回理事会

日時:平成24年 11月 7日(水)

(5) 第3回理事会

日時:平成25年 3月13日(水)



#### <平成24年度 運営幹事会開催記録>

(1) 第1回運営幹事会

日時:平成24年 4月19日(木)

場所:協会事務局(以下同じ)

(2) 第2回運営幹事会

日時:平成24年 5月18日(金)

(3) 第3回運営幹事会

日時:平成24年 6月14日(木)

(4) 第4回運営幹事会

日時:平成24年 7月10日(火)

(5) 第5回運営幹事会

日時:平成24年 8月24日(金)

(6) 第6回運営幹事会

日時:平成24年 9月26日(水)

(7) 第7回運営幹事会

日時:平成24年 10月22日(月)

(8) 第8回運営幹事会

日時:平成24年 11月20日(火)

(9) 第9回運営幹事会

日時:平成24年 12月20日(木)

(10) 第10回運営幹事会

日時:平成25年 1月17日(木)

(11) 第11回運営幹事会

日時:平成25年 2月14日(木)

(12) 第12回運営幹事会

日時:平成25年 3月7日(木)



## 【2】会長サロンの開催

＜平成 24 年度 会長サロン＞

当協会初の催しとして、法人会員の代表者の皆様方と、三村会長、西尾副会長を囲む懇談会を開催しました。**12月7日(金)**、丸の内の銀行倶楽部におきまして、20社の代表者の方々にご参加いただき、昼食をはさみながら協会活動へのご理解を深めていただきました。



## 【3】会員動向(入会・退会)

### ◆H24. 4. 1現在

- (1)正会員…………… 42社
- (2)維持会員…………… 22社
- (3)個人会員…………… 34名

### ◆H25. 3. 31現在

- (1)正会員…………… 49社 (+ 7社)
- (2)維持会員…………… 23社 (+ 1社)
- (3)個人会員…………… 69名 (+35名)

